



全日本自治団体労働組合
北海道本部
〒060-0806 札幌市北区
北6西7北海道自治労会館
電話 011-747-3211
FAX 011-700-2053
編集・発行 谷川 広美

ネット選挙運動が解禁されて初の参議院議員選挙だったが、あまり影響がないと感じている人が多いようだ。しかし、日頃からネットを活用している人にとっては、今まで見えなかったことが候補の近くになくとも見えると感じる

朝風

選挙だった。候補者の中には「こんな社会を子どもたちに残せないと訴えムーブメントを起し、支持を得た人もいる。今は少数の運動と思われがちだが、こんな運動が近い将来ふつうになって政治を動かす日が来るかもしれない。

「あいらくみ」小川勝利

かつてない厳しかったかといとなった、第23回参議院議員選挙が7月21日投票され、道本部が推薦する自治労組織内比例・あいらくみ小川勝也が再選し、北海道選挙区・小川勝也が4選を果たした。(2面「声明」参照)

自公政権による、働く者の切り捨てと格差・貧困の拡大、原発依存の復活や憲法改悪への暴走にス



再選を果たし澤田副委員長から花束を受け取るあいらくみこさん=7月22日2:00



4選を果たし、支援者から花束を受け取る小川勝也さん=7月21日21:00

トップをかけるための選挙だった。また、私たちのことは、なんとしてでも負けれない、自治労組織内で北海道本部出身の「あいらくみこ」の再選をめざすたかいたかであった。選挙戦後半、道内のマスコミによる「あいらくみ」の「あいらくみ」の根拠のない報道に、最後まで危機感を持ち取り組んだ。その結果235,636票と、民主党の中で3位で再選することができた。北海道選挙区は「小川勝也」が58,399票を獲得し2位で4選を果たした。

参院選をたたかいて終えて

自治労道本部
執行委員長
山上 潔

参議院議員選挙闘争、大変ご苦労さまでした。厳しい諸情勢の中、比

本・単組・総支部をはじめ、退職者会・家族会・自治労応援団の皆さん、

定多数を与えるものとなり、少なくとも向こう3年間は一層厳しい情勢・局面に立たされることになり

福祉・教育・格差・雇用などの課題に、毅然として政権と対峙していかねばなりません。負けたり、捲土重来を期してまた一から歩み出してい

国政にチャレンジ！ あいらくみこ奮闘記 ④

支え合う社会の実現めざして



期間中道入りしたのは3日間だけだった=7月9日、札幌市役所前

7月4日から始まった参議院議員選挙のたたかいで、「あいらくみこ」さんは全国の仲間

しかし、今後の政治情勢、民主党の置かれてい

2年に1度の『意識調査』します

このサイだから音で本間かせて

今年度は、15回目の「組合員意識調査」実施

今年は会場が変わります！

自治労北海道本部第55回定期大会

9月26日(木) 8:30受付 9:00開会
27日(金) 9:00再開 16:30閉会

札幌コンベンションセンター・大ホール
札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1
TEL 011-817-1010

JICHIRO スケジュール

| | |
|--------|---|
| 8月 | |
| 1日(木) | 自治労第53回全国学校集会 (岩手県) |
| 2日(金) | 自治労共済北海道支部第7回総代会 (札幌市) |
| 3日(土) | 臨時・非常勤等職員連絡会議第20回総会兼第29回交流集会 (札幌市) |
| 4日(日) | 第35回全道自治体職員等女子バレーボール選手権全道優勝大会 (～4日、札幌市) |
| 6日(火) | 被爆68年核兵器廃絶2013平和行進in広島・長崎 (～7日、広島市) |
| 7日(水) | 第26回執行委員会 (札幌市) |
| 7日(水) | 被爆68年核兵器廃絶2013平和行進in広島・長崎 (～10日、長崎市) |
| 9日(金) | 自治労公企評組織集会 (～10日、大分県) |
| 17日(土) | 北海道医療結成20周年レセプション (札幌市) |

道本部ホームページ
自治労北海道 ユーザー名:hokkaido
組合員専用ページは パスワード:jichi2009

第23回参議院議員選挙を終えて (自治労道本部声明)

- かつてなく厳しい状況下でたたかわれた第23回参議院議員選挙が終了しました。自治労道本部の推薦候補は、北海道選挙区「小川勝也」が583,995票で2位での当選、そして組織内の比例代表「あいはらくみこ」は、235,636票、民主党の中で3位の得票で再選をはたすことができました。この間の組合員のみなさんの取り組みに、心からお礼を申し上げます。
- 今回の参院選は、昨年末の衆議院選挙での民主党惨敗による政権の再交代をうけて発足した安倍自公政権の信任を問うとともに、衆議院に引き続き参議院でも自公与党に過半数を与えて衆参の「ねじれ」を解消し、与党に圧倒的に優位な国会勢力を許すのが焦点とされました。私たちにとっては、第2次安倍政権による、働く者の切り捨てと格差・貧困の拡大、「人からコンクリートへ」「家計から企業へ」という政治の逆戻り、そして原発依存の復活や憲法改悪への暴走にストップをかけるための選挙でした。
- しかし、選挙の結果は自民党が65、自公与党で76議席を獲得して絶対安定多数を確保し、対する民主党は結党以来最低の17議席にとどまり、衆議院選挙につづく大敗北を喫しました。他の野党勢力も、共産党が政権批判票を一定つかんだ以外は、「維新の会」「みんなの党」など第3極といわれる勢力、また社民党や民主党を離脱した勢力も、大きな支持を獲得することができませんでした。衆議院に続き、参議院でも圧倒的な与党優位の国会ができあがったことになりました。
- 今回の選挙結果をうけて、私たちを取り巻く政治情勢はさらに一段と厳しいものになることは必至です。これまで以上に、安倍政権や国会の動向をしっかりとチェックしながら、平和を守り、将来に希望が持てる国、国民の生活や権利が守られる社会を実現するために、さまざまな活動を強めることが必要になります。こうした中、全体的には厳しい結果でしたが、北海道選挙区で改選議席を守ったこと、そして比例代表で自治労組織内・道本部出身の「あいはらくみこ」の再選を果たせたことは、これからの事態に立ち向かっていく上で最低限の足場を確保できた、という非常に重要な結果といえます。
- 自治労北海道本部は今後、各地本、単組・総支部と一体で選挙活動の総括する中から、今後の事態に備えた組織と活動の強化を、全組織・全組合員で進めていこうと考えます。あらためて、すべての地本、単組・総支部、組合員と家族、そして退職者会など、すべてのみなさんに、心からの敬意と感謝を申し上げますとともに、これからの取り組みへのさらなる結集をお願いいたします。ともにごんばりましょう。

2013年7月22日

自治労北海道本部 執行委員長 山上 潔

組織統一して50年



職場だより



記念講演会であいさつする長谷川委員長、左が片山元総務大臣、右が逢坂前衆議



300人が参加した50周年祝賀会=6月15日

【渡島地本発】函館市職労は、1946年に結成した「函館市役所職員組合」、1951年結成の「函館市学校従業員組合」、また、1956年結成の「函館市清掃部清掃労組」が、産別闘争の強化・発展をめざして1963年5月に組織統一してから50周年を迎えた。

これを記念して、6月15日、函館国際ホテルで記念講演会と記念式典・祝賀会を開いた。

元総務大臣の片山善博さんを招いた記念講演会には、市職労組合員や地域の労組関係者のほか、一般市民など、総勢約200人が参加した。片山さんは、「地方からの再生と日本の将来」地方の元気が日本を変える!!」をテーマに講演し、安倍政権の経済対策は地方には効果がないことや、地方分権について、TPP問題のISD条項が、地方

自治の権限や独自政策の範囲を狭めてしまう恐れがあると指摘した。

記念式典と祝賀会にも、初代委員長やOBらも含め約300人が参加した。

長谷川委員長は、「50年を期に、公共サービスを担う職員の労働組合として、市民に理解される運動の追求と地方自治確立にむけて努力していきたい」とあいさつした。

祝賀では、函館吹奏楽団による演奏、50年を振り返るメモリアルDVDも上映した。(函館市職労書記次長・隼人聖)

チャレンジ! チルドレン・ファースト

少子化対策 「三本の矢」とは!?



今年の5月、政府が若い世代の女性を対象に「女性手帳」を配布するという報道があり、物議を醸しました。これを憶えていますか? 結果的に「女性手帳」は見送られました。これを議論して「三本の矢」という言葉が使われています。一本目の矢は「子育て支援の強化」、二本目の矢は「働き方改革の強化」、三本目の矢は「結婚・妊娠・出

今年5月、政府が若い世代の女性を対象に「女性手帳」を配布するという報道があり、物議を醸しました。これを憶えていますか? 結果的に「女性手帳」は見送られました。これを議論して「三本の矢」という言葉が使われています。一本目の矢は「子育て支援の強化」、二本目の矢は「働き方改革の強化」、三本目の矢は「結婚・妊娠・出

人勤情報は道本部HPで!

人事院勤告など新情報は、自治労北海道のホームページ「単組・組合員専用」ページをご覧ください。スマホやタブレットでも見ることができます。

パスワードは、1面左下のスケジュールをご覧ください。



おーさかさんの徒然だより



第23回参議院選挙で私たちの仲間「あいはらくみこ」さんは、多くの皆さんの支持を受け、みごと、2度目の当選を果たした。本当に、良かった。一方、民主党は結党以来の最悪の現状を見ると、競争社会だけでは国が成り立たないことは明白だ。

しかし、今の自民党を中心とする勢力だけで、国民の皆さんの思いを十分に受け止めることはできない。また、アメリカのデトロイト市域が良くなる政策を磨き上げるしかない。(7月24日 東京にて)

低となる17議席しか確保できず、党存亡の危機に陥っている。今日現在も幹事長の辞任や、菅元総理への離党勧告など、末期的とも言える状態だ。

やはり、われわれが掲げる「生活者」「納税者」「消費者」「働く者」の立場で、国民のくらしが、そして地域が良くなる政策を磨き上げるしかない。(7月24日 東京にて)

7月から書記採用

道本部は7月1日付で、岡かおりさん32歳を書記として採用した。書記の採用は、昨年、約9年ぶりに河合書記が採用になったが、女性書記は14年ぶりの採用。

岡書記は、4月1日から臨時書記として採用になっていた。引き続き、企画総務局で女性部と青年部を担当する。



忙中余話

自治労や道本部の組織力量が試された参議院選挙が終わった。道本部が推薦した「あいはらくみこ」さんと「小川勝也」さんは再選を果たしたものの、組織力量はどうだったのだろうか? 大いなる総括が必要だ! 地公給守を導いたばかりか、北海道選出比例候補の立場は、まさに今の組織力量を現していると思える。組織はたまたかから強化できない、という言葉を思い返した。(大出彰良)